

故障かなと思ったら

まず次の点をもう一度お調べください。

1. 停電もしくは、ブレーカーが落ちていませんか？
2. タイマー電源プラグが、コンセントからはずれていませんか？
3. タイマーは、正しく設定されていますか？
- 現在時刻を確認してください。
- タイマー設定時刻を確認してください。
4. タイマー運転時間内ですか？
- タイマー設定時刻を確認してください。
- タイマー運転時間外であればタイマーのモードを **連続運転** にしてファン運転を確認してください。
- 確認後再びモードを **タイマー** に切替えてください。
5. タイマーのモードが **停止** になっていませんか？
- ※詳細な設定方法はタイマー添付の取扱説明書をご参照ください。

アフターサービス

補修用性能部品の最低保有期間

本製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、6年です。
●補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

不明な点や修理に関するご相談

修理に関するご相談ならびに不明な点は、お買いあげの販売店に、お問い合わせください。

修理を依頼されるときは

- 保証期間中の修理については、販売店にご相談ください。なお、ご相談されるときは、品名およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。
- 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- 一般家庭以外（例えば業務用など）に使われたときの故障は保証期間内でも原則として有料修理になります。

保証書について

- 保証書にお買いあげ日、販売店名など所定事項の記入がないと有効になりません。万が一、記入がない場合は、お早めにお買いあげの販売店にお申し出ください。
- 万が一故障した場合には、保証書記載内容により、保証期間内はお買いあげの販売店が無料修理いたします。

保証書		品名	押入換気システム	保証期間	1 年 間
保証内容 ●この製品は厳密なる品質管理及び検査を経てお届けしたものです。 ●本書は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合に、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。 ●お買い上げの日から保証期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。 1. 保証期間中に正常な使用状態で故障した場合には無償で修理・交換いたします。 2. 保証期間中でも次の場合は有償修理となります。 （1）火災、地震、水害、雷、異常電圧、その他天災地変による損傷、故障。 （2）ご使用上の不注意、過失による損傷、故障。 （3）不当な修理や改造による損傷、故障。 3. 本製品は生産物賠償保険に加入していますので、万が一、次の場合には補償されます。 （1）対物補償／本製品の原因により生じた家屋の損傷、焼失など ・ ・ ・ 最高限度額 5,000万円（1物件） （2）対人補償／本製品の原因により人体に被害、死亡等が生じたとき ・ ・ ・ 最高限度額 1億円（総合） 4. 販売店印なきもの及びお買い上げ日記入無きものは無効です。 ※お買い上げ日や販売店が証明できる納品書やレシート等があれば有効です。 5. 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。 ※この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。		お買い上げ日	年 月 日		
		お名前 ※お客様記入欄	様		
		ご住所 ※お客様記入欄	〒 ー ー (電話： ー ー ー)		
		販売店			
		販売元	セイホープロダクツ株式会社 〒816-0971 福岡県大野城市牛頸2364-3 SGGビル		

愛情点検		長年ご使用の送風機の点検を	
	ご使用の際、このような症状はありませんか？	●スイッチを入れても時々羽根が回転しないことがある ●回転が遅い、または回転が不規則である ●運転中に異常な音や振動がする ●焦げくさい“におい”がする ●その他の異常がある	
	ご使用中 止	このような症状のときは、故障や事故防止のため、プラグを抜いて、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。	

■押入換気システム

取扱説明書

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。
■表示内容が無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害を、次の表示で区分し、説明しています。

警告 この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

注意 この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



このような絵表示は、しては
いけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行して
いただく「強制」内容です。

警告



■仕様変更・改造・分解は絶対にしない。
火災・感電・けがの原因となります。



■製品を水につけたり水をかけたりしない。
ショート・感電の恐れがあります。



■コンセントや配線器具の定格を超える
使い方や、交流100V以外で使用しない。
誤った配線工事は火災・感電の恐れがあります。



■取付工事および電気工事は「電気設備技術基準」
「内線規程」に基づいて専門工事店が行なう。
誤った配線工事は火災・感電の恐れがあります。



■さだめられた場所以外で使用しない。（本製品は押入専用です。）
火災・感電・けが及び故障の原因となります。

注意



■水や薬剤につかるところに取付けない。
ショート・感電の原因になります。
破損・変形の原因になります。



■製品の上に物を置かない。
破損・変形の原因になります。



■落とさない。
破損・変形の原因になります。



■運転中は危険ですから本体内部に指や物を入れない。
感電・火傷・けがの恐れがあります。



■本体取付のとき及びお手入れは必ず手袋などを着用する。
けがの恐れがあります。



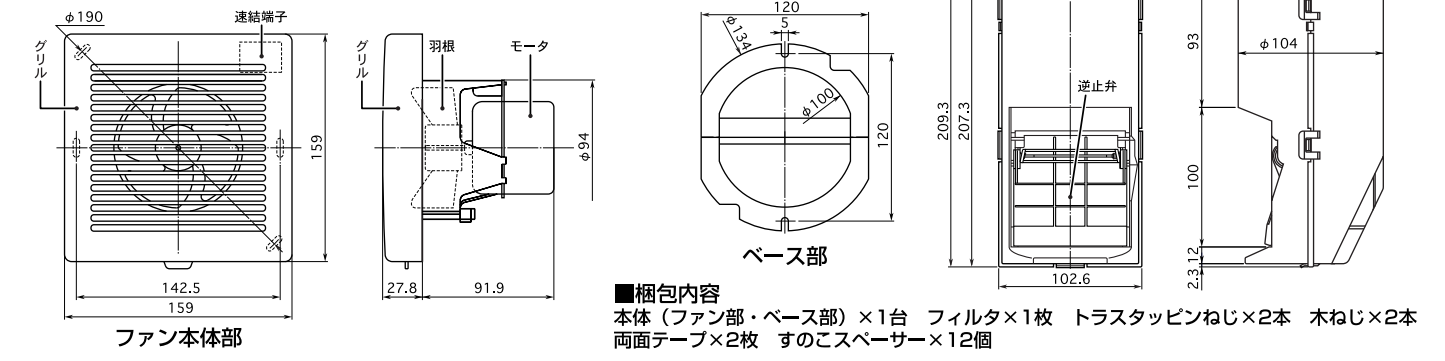
経年劣化に係わる注意喚起のため下の内容の表示を本体にしています。
■【製造年】本体に西暦4ケタで表示してあります。 ■【設計上の標準使用期間】15年
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

お願い

■台風時など床下浸水が予想されるような場合は電源を切ってください。また、床下浸水などがあった場合は部品の交換が必要です。（お買いあげの販売店にご相談ください。）

各部の名称と外形寸法図

〔単位：mm〕



仕様	定格電圧	AC100 [V]	風 量	40/45 [m³/h]
	定格周波数	50/60 [Hz]	騒 音	36/41 [dB]
	定格消費電力	3.8/4.7 [W]	質 量	約 0.8 [kg]

※付属部品を除く。

設置場所

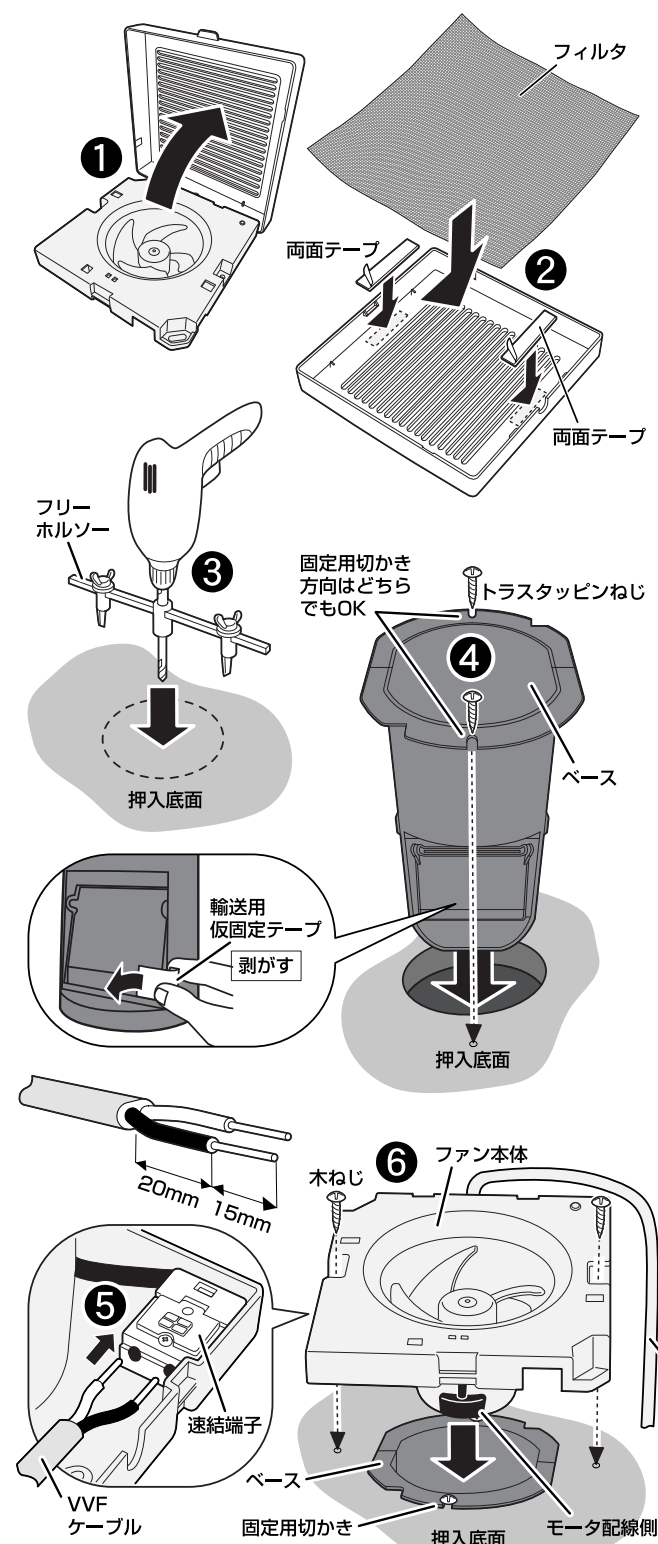
ファンの設置場所を決める

- 1 使用するすのこの足があたらないよう考慮してファンの取付穴（φ105）を開けます。

床下換気扇と連動させる場合は電源用電線穴（φ12）を開けます。

- 注意**
- 本体の取り付け工事は十分に強度のあるところを選んで確実に行ってください。
 - 強度が十分ではない場合、必要に応じて木材や補強材を追加してください。
 - 逆止弁に障害物等が当らず90度以上開く所に取り付けてください。
 - 高温（40℃以上）になる所には取り付けないでください。

設置方法



フィルタの取付

- 1 ファン本体のグリルを開けます。
- 2 グリルの裏側に両面テープを貼り、付属のフィルタを貼り付けます。

本体の取付

- 3 押入底面にホルソーでφ105の穴を開け、ベースを差し込みます。ベースの切かき方向とファンモータ・配線の向きに合わせるように取り付けてください。

- 注意**
- 逆止弁の輸送用仮固定テープは剥がして使用してください。
 - ファンとベースの向きに注意して差し込んでください。
 - 逆止弁には攪拌や拡散機の風が直接あたらないように注意して取り付けてください。風があたり逆止弁が閉まったり、風が逆流する場合があります。
 - ベースは水平な底面に取り付けてください。水平でない場合逆止弁が正常に動作しません。

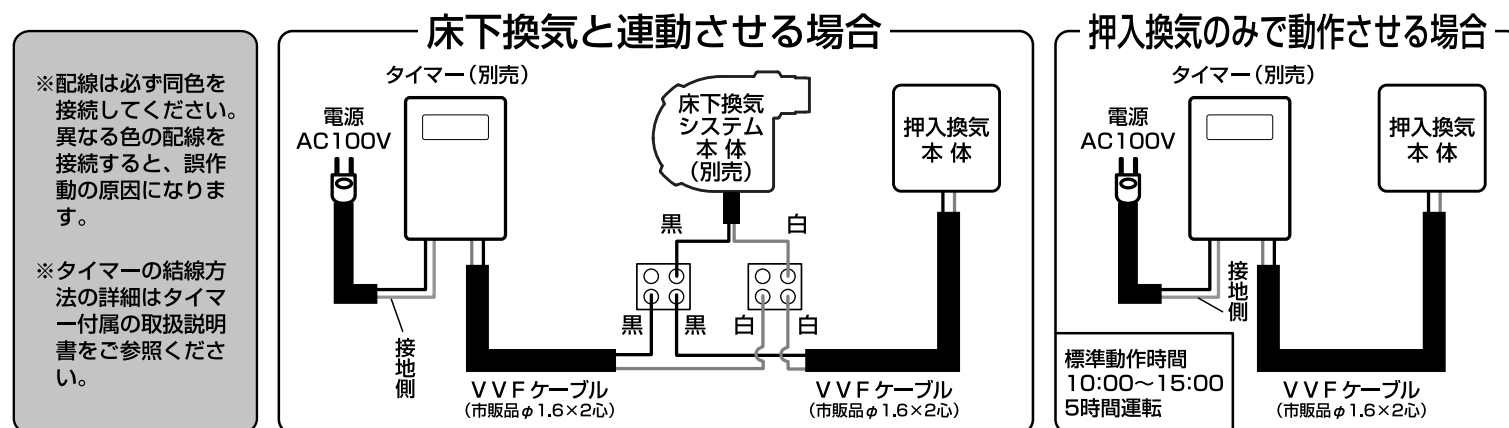
- 4 ベースをトラスタッピンねじで締め付けて固定します。
- 5 段剥きした電線をファン本体裏面の速結端子に電線の先端が突き当たるまで挿入してください。

注意 ● 曲がった電線は必ず真直ぐに直して差込んでください。
※不適正な電線の使用は火災の原因となります。

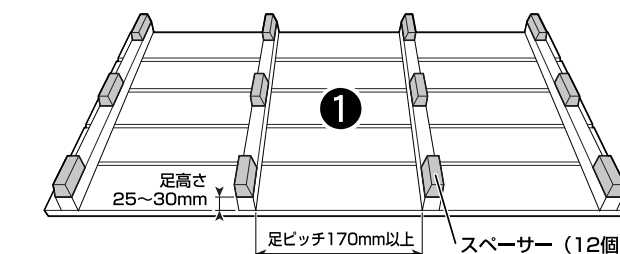
- 6 ファン本体をベースに差し込み、ファン本体に付属している木ねじで締め付けて固定します。

- 7 グリルの方向を間違えないようファン本体にはめ込みます。

配線および結線方法



取付後の押入収納方法

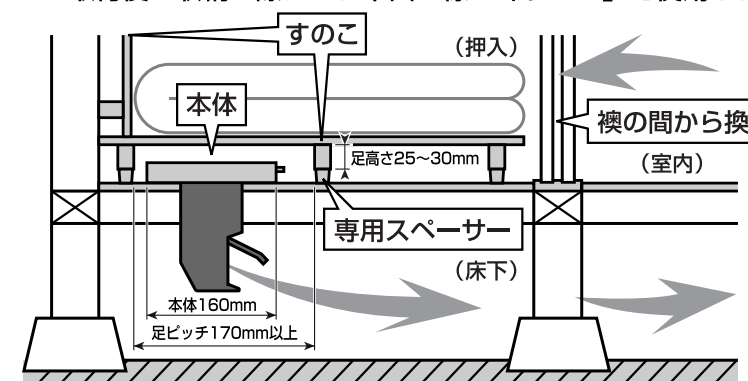


専用スペーサーの取付

- 1 すのこを裏返し、足の各12箇所に付属の専用スペーサーを貼り付けます。

注意 ● 押入用すのこはホームセンター等でお買い求めください。
(足ピッチ約170mm以上のもの)

本機種は押入側に吸入口があるため、直接製品の上に布団等を置くと換気能力の妨げになり十分な換気できません。取付後の収納の際には、下図の様に「すのこ」を使用し、吸入口のスペースを確保するようにしてください。



また、押入内がいっぱいに収納されていると十分な効果がでません。押入全体を換気しやすいように、収納には余裕をもたせてください。

- 換気システムが設置されている所だけでなく、押入の底面や側面全面にすのこを使用した方がより効果的に換気できます。
- 通常押入の襖の間にすき間が設けられています。すき間が無いまたは狭い場合は襖の両端を10mmほど開けてご使用ください。

お手入れのしかた



あまり汚れないうちに（約3ヶ月毎）お手入れをしてください。

警告 ● お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜くか、分電盤のブレーカーを切ってください。感電やけがの原因

注意 ● お手入れの際は、手袋を着用してください。けがの原因

- 1 グリルのおもて面からフィルターのほこりを掃除機で吸い取ってください。
- 2 グリルを取り外し、ファン本体の羽根のほこりを掃除機で吸い取り、中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸した布で拭き取った後乾拭きしてください。
- 3 グリルをファン本体に引っ掛けるようにして取り付け、「カチッ」と音がするまで押しつけてください。